

# LRTを走らせるために解決すべきことは？

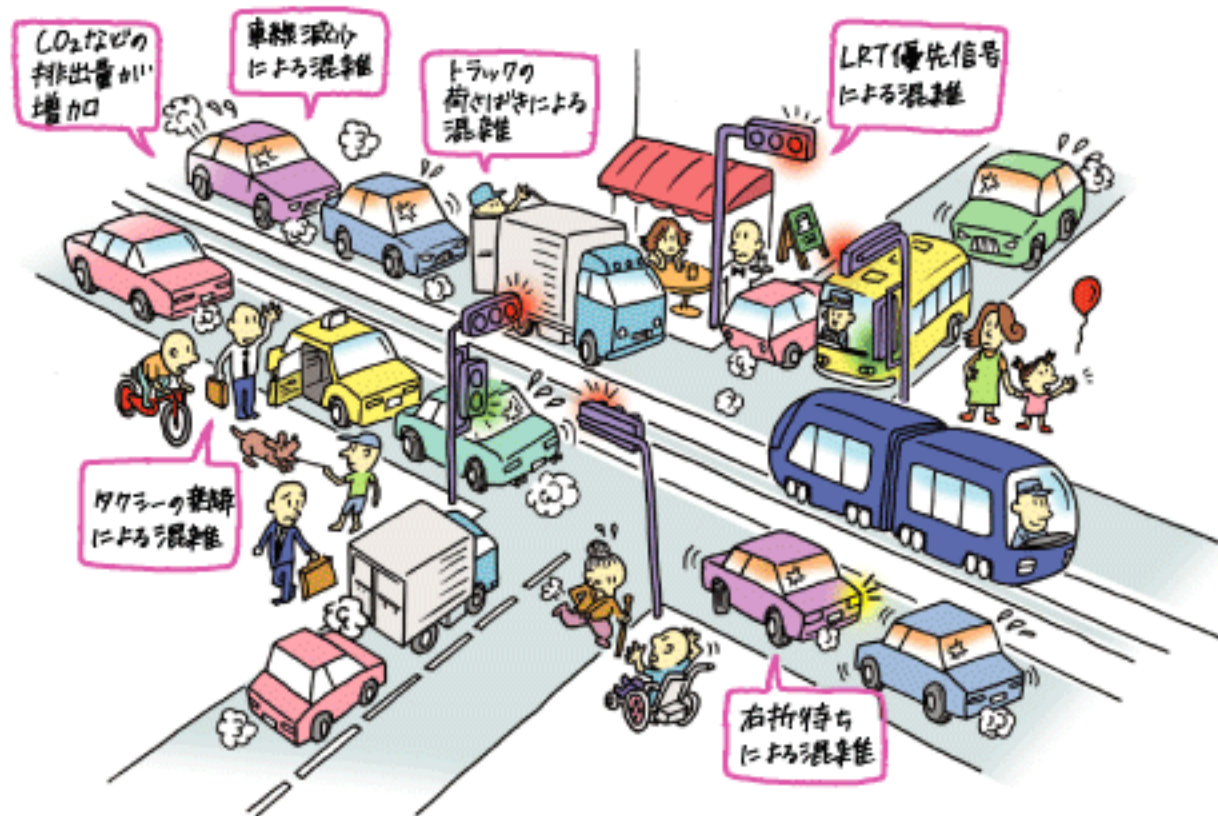
## 課題1

### 自動車交通に与える影響と課題

車線減少による沿線及び周辺における道路の混雑

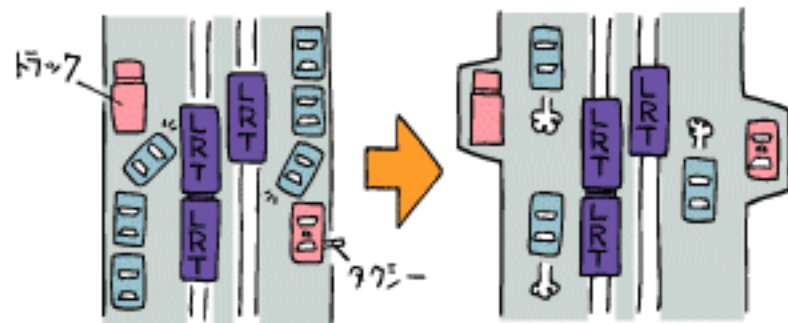
LRTの優先信号や右折待ち等による交差点の混雑

LRT導入に合わせて、自動車の利用を抑制し、渋滞のない良好なまちをつくる必要があります。また、自動車中心の生活から脱却し、公共交通を積極的に利用する取組も必要です。



荷さばきなど駐停車スペースの不足

荷さばきスペースの確保や、共同配送による荷さばき回数の軽減など、物流の円滑化への取組が必要です。



京都市のまちづくりにLRTを活用するには

## 課題2

### LRT導入に向けたシステム構築上の課題

車庫や停留場の設置に必要な用地の確保

公共用地の有効活用や、郊外地区での用地確保などについての検討が必要です。

財源の確保と事業主体の検討

財源の確保のために、国による補助制度など公的支援の拡充や、民間の活力と経営ノウハウを有効に活用した整備手法の検討が必要です。

架線や構造物が景観に与える影響

京都市にふさわしい乗り物とするため、架線や電柱のない新しい技術の導入についての検討が必要です。

## 課題3

### より良好な交通環境の実現に向けた課題

他の交通機関との連携による公共交通全体の利便性向上

既存のバス・鉄道とLRTとの役割分担を明確にし、LRTと他の交通機関が連携することにより、京都市の公共交通全体の利便性向上が必要です。



より魅力ある中心市街地をつくるためのまちづくり

中心市街地の活性化のため、トランジットモールなど「歩くまち・京都」にふさわしいまちづくりが必要です。



これまでの道路や自動車の使い方を工夫すること、より良好な交通環境の実現に向けた努力が必要です。